

「教育ボランティアニュースレター」は年2回発行しています。
第23号ができましたので、お届けいたします。

神戸市看護大学
〒651-2103 神戸市西区学園西町 3-4

教育ボランティアニュースレター

第23号
発行月 平成30年11月

看護職の健康教育スキルを学ぶ！ —健康教育発表会を開催しました—

健康学習論

健康学習論とは



健康学習論は、保健師・看護師が行う活動展開方法の一つである健康教育・健康学習に必要な理論や方法論を理解することを目指した科目です。科学的根拠に基づいた健康教育・健康学習の企画・実施・評価の一連の過程を学び、健康教育発表会でその成果を発表します。発表会では、本学に登録している多くの教育ボランティアの方々からご協力をいただいております。

学生が本科目内で作成した健康教育の発表会に、教育ボランティアの方々は、看護師・保健師役の学生に対しての対象者役（住民役）としてご参加いただきました。31名の教育ボランティアの方々に参加され、うち9名（29.0%）は初めての方で、22名（71.0%）は2年以上ご参加いただいている方でした。

今年度の学生が設定した内容は、女性の腰痛予防、営業職の高脂血症予防、認知症予防、骨粗鬆症予防、熱中症予防などであり、様々なライフステージの方に向けた内容でした。発表会では、参加された教育ボランティアの方々から多くの質問やコメントをいただきました。発表会後に教育ボランティアの方々に記載いただいたアンケート（回収率96.8%）からは、学生の健康教育に対して全員が満足/やや満足で、全員が次年度にも参加したいという回答をいただきました。学生が発表した健康教育に対する感想として、「学生さんが一生懸命に学んでいる姿が伝わってきた」、「健康維持の参考となった」などの前向きな評価を多数いただきました。また、「発表の中で最も重要な点を強調する工夫が大切」、「声が小さい部分もあった」などの学生への教育的なご意見もいただきました。

発表会後の学生からは、「練習と違ってとても緊張した」、「実施している中で、教育ボランティアの皆さんが発表内容に興味をもっていただいていると感じることができた」、「教育ボランティアの皆さんの質問にうまく答えることができなかった。もっと勉強が必要だった」などの感想がありました。発表後すぐに住民さんからのフィードバックをいただいたことで、ダイレクトに住民さんの思いが伝わり、学生にとっては大きなインパクトになったと思います。特に、対象者に合わせた健康教育を企画すること、目的の重要性にも気づくことができたと感じています。これらのことを通して、対象者の特性に応じ、根拠に基づいた健康教育・健康学習の企画・実施・評価の一連の過程を学ぶという本科目の目的の達成ができたと思われれます。

教育ボランティアの方々の多大なるご協力に感謝申し上げます。

（文責：地域・在宅看護学分野 都筑 千景，山下 正）

編集・発行

神戸市看護大学

地域連携教育・研究センター

